

8月25日

中国政府が国東市を視察

中国政府の農業部一行が、視察で国東市を訪れました。今回の視察は、クヌギ林とため池がつなぐ農林水産循環によって持続可能な農業環境を実現している国東半島宇佐地域世界農業遺産の取り組みを学ぶために行われました。中国の一行は、七島蘭学舎では国東地域特産の七島イを、国東町の旭日地区では、世界農業遺産を活用した地域おこしを学びました。



8月29日

国東市と東京理科大が連携して「知能住宅」を研究

国東市と東京理科大学(東京都)が連携して、「知能住宅」の実現に向けた実地研究を2年間かけて国見町のユースホステルの敷地内で行うことを発表しました。この研究は、住宅内に起った出来事を振動センサーで自己検知し、インターネットで管理者に自動通知する仕組みを試すもので、IoT(モノのインターネット)の応用例としては、先進的な取り組みとなります。



9月1日

ふるさと市場R213がリニューアルオープン

里の駅「ふるさと市場R(ルート)213」(安岐町)のリニューアルオープン記念式典行われました。式典では、同施設の新指定管理者「i(あい)オーブ」の木付弘子代表が「みなさんに愛される施設を目指していきます」とあいさつした後、テープカットで再開を祝いました。来店者には、紅白もちが配られ、試食用の手作りのカステラやコーヒーが振る舞われました。



9月13日

ウーマンメイクのハウス・集出荷施設見学会

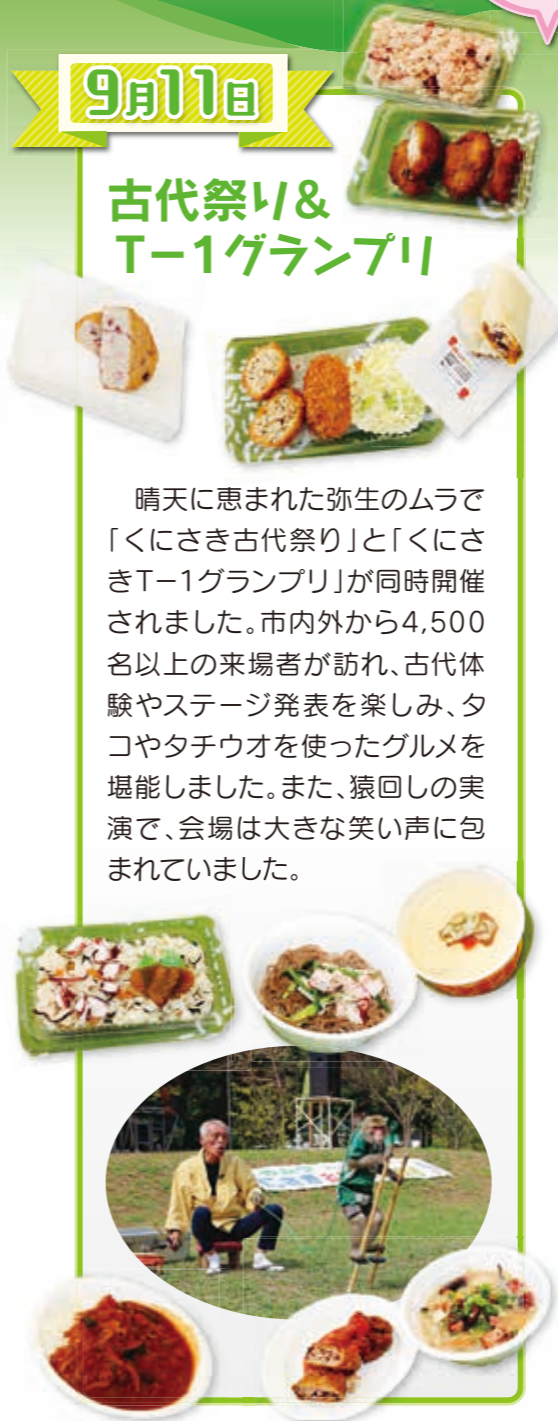
女性ばかりでつくる農業生産法人「ウーマンメイク株式会社」(安岐町西本)が、水耕栽培したリーフレタスの出荷が始まったことを機に、ハウスや集出荷施設の見学会を行いました。同会社の平山亜美社長は、「女性が子育てをしながら農業をするには多くの課題があると言われてきましたが、女性のための魅力的な職場として農業ビジネスを展開していきたい」とあいさつしました。



9月11日

古代祭り& T-1グランプリ

晴天に恵まれた弥生のムラで「くにさき古代祭り」と「くにさきT-1グランプリ」が同時開催されました。市内外から4,500名以上の来場者が訪れ、古代体験やステージ発表を楽しみ、タコやタチウオを使ったグルメを堪能しました。また、猿回しの実演で、会場は大きな笑い声に包まれていました。



9月3日

大分空港をみんなで楽しむ

大分空港で「空の日イベント」が開催されました。航空会社各社の制服試着コーナーにはたくさん子どもが集まり、かわいらしい姿が見られました。有料駐車場北側の広場では、2019年ラクビーワールドカップ大分開催の機運を高めるため、小学生ラクビー教室が開催されました。参加したみなさんは、パスの練習をした後に、ミニゲームをしてラクビーの楽しさを体験しました。



9月1日

大分空港の足湯別府八湯に認定

今年6月に大分空港国内線の1階到着ロビーにオープンした「足湯」が、別府八湯温泉道に登録されました。この日の登録記念イベントでは、登録された温泉を巡るスタンプラリーで使用する「旅客機や空を描いた」スタンプがお披露目されました。足湯に入った人達は、早速スタンプを台紙に押しつけていました。



9月10日

赤根善神王祭

国見町赤根地区に200年以上続く五穀豊穡と無病息災を願って行われる火祭り「善神王祭」が、古幡社で開催されました。今年の松明は、火の点きが良く、瞬く間に大きな炎が上がる中、地元の赤根区民を中心に約20名が竹の棒を突き上げて松明おこしを行いました。約8メートルの大松明は、約20分で真っ直ぐに立ち、会場を明るく照らしました。

